

2006 年度

科目名 日本演劇史A	対象学科・学年 文学部日文2回生	担当者 小林 健二
授業テーマ 能楽（能・狂言）を中心として日本における演劇の歴史を学ぶ		
授業の概要と目標 能楽は600年前に観阿弥・世阿弥の父子により、その当時の芸能のよいところを吸収して大成された演劇です。その形成と展開についてなるべく具体的に講義していきます。また、作者ごとにビデオを用いてその代表作品の鑑賞を行い、能に対する理解を深めていきます。		
評価方法 試験（60%） 受講状況（40%）		
テキスト プリントを配布します。	著者	出版社
参考書 講義の中で紹介します。	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1 ガイダンス 2 能楽以前の日本の芸能。 3 大和猿楽四座の形成。 4 観阿弥の登場。 5 観阿弥の作品鑑賞―〈通小町〉。 6 世阿弥の生涯（その1）―少年時代から大夫時代。 7 世阿弥の生涯（その2）―充実期と晩年。 8 世阿弥の能と芸論―『風姿花伝』。 9 世阿弥の作品鑑賞①―〈井筒〉。 10 世阿弥の作品鑑賞②―〈頼政〉。 11 観世元雅の生涯と作品。 12 観世元雅の作品鑑賞―〈隅田川〉。 13 観世元雅の作品鑑賞―〈弱法師〉。 14 まとめ 15 前期試験		